
教育総合センター だより

NO. 118

平成 22.12.1

「人生の種まき」

尼崎市立中央中学校
校長 矢元 隆雄



「先生、おそい」「ごめん、会議が延びてしまって。始めようか。」「起立！合奏を始めます。礼！」「お願いします。」

吹奏楽部の練習の始まりである。生徒たちは、いつも指示された時間までに準備をして私を待っていてくれた。その生徒たちも今では、看護師、教師、漫画家、会社役員、自衛官、デザイナーなど多種多様な職に就いている。結婚が決まった、子どもができた、転勤するなど、ことある毎に集まり、会食しながら中学校時代にタイムスリップする。

新入部員には、「吹奏楽部は、技を磨くことを通して心と体を鍛える運動部だ。(新入部員には、この意味は半年ほどわからない)」と話し、腹筋運動やランニングから始め、マウスピース(歌口)だけを持たせ「ブーブー」「ピーピー」と吹かせて腹式呼吸法を覚えさせた。入部後、1ヶ月経ってやっと楽器を持たせた。このひと月に小さな辛抱を身につけることで、少し大きな次の辛抱ができるようになっていった。

しかし、3年の間には、部活と勉強との両立、人間関係、演奏技術などの悩みから、「辞めたい」と相談にくる生徒もいた。そのたびに「辞めたいと思うことは悪いことではない。しかし、『辞めたい』と『辞める』は違う。みんな一度は『辞めたい』と思うけれど、続けることで色々な悩みを乗り越える力がつく。今の自分にとって、耐えねばならないこと、鍛錬しなければならないことは何なのか、今日は楽器を持って帰って、楽器と相談しておいで。」と諭した。太い幹を持った生徒ばかりではなく、

今にも折れそうな細い幹には、太い添え木をしてやらなければならなかった。

生徒は、毎日触れ、口にして愛着のある楽器に相談することで、自分を振り返って考えることができた。『楽器』のお陰で、厳しい練習にも関わらずほとんどの生徒は3年間部活を続け、常に80人程の部員を維持しながらの活動ができた。また、コンクール「金賞」を目標にした活動の中で、挨拶や言葉遣いなど、規則正しい生活、礼儀、社会生活に関することを身につけさせることを重視したこともあって、たとえ目標が達成できなくとも生徒たちの心は鍛えられたのであろう。

「仕事を辞めたいと思ったこともあったけれど、部活で忍耐力が身に付き、達成感を味わえたから、職場での辛いことやしんどいことが乗り越えられていると思う。」「人間関係でもめたり組織的に活動したことが今になって役に立っている。」など、昔話だけでなく現在の職場での悩みや対応にも話が弾む。しんどかった、つらかった、楽しかった、失敗した、涙したことなど全てが懐かしい良き思い出となって蘇り、いつまでも話は尽きない。

最近では、教育の成果や結果をすぐに求める風潮があるが、我々の子どもに対する日々の営みの成果はすぐに現れないことも多くある。この子どもたちの数十年間の人生の歩みを見ていると、子どもたちの将来を見据え、種まきと適度な水やりをコツコツと続けることがいつの時代も必要なことであると改めて感じさせられる。

50 インチデジタルテレビ体験記

尼崎市立金楽寺小学校 半田 梢

5年生担任として、半年間使ってきた内容の紹介と、使っている時に感じた課題等についてまとめてみたい。使用方法としては、だいたい次の4つであった。

テレビ番組の視聴
写真を見せる
ビデオカメラと接続
コンピュータと接続



使用方法・効果等

は特に説明がいらないので、[写真を見せる]から紹介したい。導入されたデジタルテレビは、カメラと接続をしなくても、学校にあるカメラ(記録媒体がSDカードであれば個人のカメラでもOK!)で撮った写真を、50インチの大画面で見せることができる。

板書をそのまま写真に撮って次の時間に提示したり、天気学習で空模様を写したものを全員で見たりと、何度も利用した。使い方は非常に簡単で、SDカードをカメラから出してテレビに差し込めばいいだけである。あとはリモコン一つで次々に写真を見ることができる。撮ってすぐでも、準備なしで見ることができる手軽さは大変ありがたい。写真を見せるのはとても簡単なのでオススメである。

[ビデオカメラと接続]は、家庭科の玉結び・玉どめの学習等、動画で見せたいものの実演時に使用した。ビデオカメラ(デジタルカメラでも可)をテレビに接続し、指先の動きを大きな画面で確認させた。教師の回りに子どもを集めると、見えない子が出たりざわついたりするが、その心配がない。何より、実際に糸がねじれていく様子がイラストなどの静止画ではなく、動画で見られるのは効果的であった。他にも、子どものノートやプリントを次々に見せたい時等に活用している。

[コンピュータと接続]は、一番便利で、特にインターネットに接続すれば、授業で使え

るデジタルコンテンツが豊富にあり、全ての教科で活用することができる。テレビとの接続は、HDMIコード1本だけ。簡単で音声もばっちり出る。

算数では、立体、面積、体積など、特にデジタルコンテンツをよく使った。理科や社会のNHK学校放送のビデオクリップは、必要な場面をいつでも見せられるのでオススメである。コンピュータ室への移動時間、起動時間など気にせず、こちらが見せたいサイトを効果的に見せることができ、子ども達の興味・関心も高かった。理科では気象庁の雲画像やアメダスの動画が、また、社会科では自動車会社の子どもサイトなどが大変有効であった。

課題・今後の方向等

ただ、各教室に1台デジタルテレビがあるものの、カメラやパソコンは、「いつでも」「すぐに」使える状態ではないのが現状である。

また、[ビデオカメラと接続]は本来、ビデオカメラよりも、実物投影機(書画カメラ)のほうが断然よい。書画カメラは黒板などに画像を投影してそれに直接書き込みをしたり、顕微鏡と接続することで、クラス全員で顕微鏡の中の画像を確認できたりと、利用の幅が格段に広がる機器である。

導入されたデジタルテレビは、テレビとしてよりも、ディスプレイとして使用することの方が多いため、より効果的に使うためにも、パソコンと書画カメラも各教室に1台ずつ整備してもらえればと思う。しかし、以前のテレビに比べると、格段に活用する用途が広くなり、ダイナミックな授業の展開が可能になった。

以上のような活用方法であれば、乗り越えなければならない『敷居』もそれほど高くないので、是非!気軽に授業に取り入れてみてはいかがでしょうか。

教育研究部会の研究経過報告

教育総合センターでは、先生方と指導主事とで実践的な教育研究に取り組んでいます。今年度は8部会が研究を行っています。その中から2部会について研究の途中経過等を報告します。

【英語科教育研究部会】

研究テーマ：小・中の効果的な連携を図る

研究の概要：

学習指導要領の改訂に伴い、小学校では平成23年度から「外国語活動」が全面実施されることになる。英語科教育研究部会ではこれを受け、中学校の英語教育には何が求められ、今後どのような授業改善をしていけば、小・中の効果的な連携を図ることができるかについて研究することにした。

主な研究内容は、

- ・ 小学校の外国語活動の内容を把握する
- ・ 外国語活動の学習内容を踏まえ、中学校第1学年を中心に英語科の指導の在り方を検討する
- ・ 小・中の連携の在り方について検討することである。

これまでに、まず、実際に外国語活動がどのように行われているのか、また、授業の中でどのようなコミュニケーション能力の素地が養われているのかを、小学校での研究授業等を参観し、観察してきた。次に、観察した結果等を踏まえ、中学校入学後の英語科の授業で、外国語活動で養われた素地をどのように伸ばしていけばよいのかを検討している。

今回の研究では、小学校での授業の進め方や子どもの様子を参観することができ、大いに参考になった。特に、今年11月には、阪神地区中学校教育研究会英語部会総会・研究大会（伊丹大会）に参加したが、今回は大会でも初めての試みとして、小学校の外国語活動の授業が公開され参観することができた。小学生の外国語活動に対する興味・関心や、小・中連携の在り方を探る上でも有意義な大会であった。

今後、こうしたことも踏まえてさらに研究を進め、研究報告書にまとめる予定にしている。

（兼田 隆男）

【デジタルコンテンツ・社会科教育研究部会】

研究テーマ：デジタルコンテンツを活用した効果的な指導方法の研究

研究の概要：

兵庫県のネットデイ事業等により、市内小学校普通教室へのLAN整備率が100%となった。また大型ディスプレイの各教室への導入によりICTを活用した授業がいつでも手軽にできる環境が整った。よって授業でのICT活用では、デジタルコンテンツをいつ、どのような場面で活用するのか考えて授業を設計・展開していくことが、さらに重要になってきている。

本研究部会では、「多くの教員が使えるデジタルコンテンツ」をめざし、コンテンツの開発と実践について研究を進めている。今年度は、昨年度に引き続き、社会科副読本「わたしたちの尼崎」の一部デジタル化を試み、それを使った授業実践を行っている。具体的には、授業の事前研究、授業参観、事後研究を通して、作成したコンテンツの「活用・効果・評価」、子どもの「興味・関心」「思考・判断」などを考察し、研究テーマに迫ることとしている。

研究計画

- 5～6月 研究テーマ及び内容の検討
- 7～9月 デジタルコンテンツの作成
- 11～1月 授業研究・事後研究
- 3年 工場の仕事の工夫を探ろう
- 3年 公設地方卸売市場について知ろう
- 3年 農家の仕事の工夫を探ろう
- 4年 私たちの兵庫県
- 1～2月 研究のまとめ・発表会



（浅田 宗良）

教育情報コーナーへ どうぞ

今年の「読書週間」標語 - 気がつけば、もう降りる駅 -
本を読む楽しさ、ワクワク感が、手に取るように感じられます。
そんな読書がしたいものですね。

情報コーナー図書から、オススメの本を紹介します。



『教師花伝書～専門家として成長するために』 佐藤 学著 / 小学館
本書は2007年4月号から2009年3月号にかけて、雑誌「総合教育技術」に好評連載されていた文章がまとめられている。「風姿花伝」の精神に沿い、教師の授業実践とその学びのありようを探る。

『教師としての在り方に絶えず立ち戻り、粛々と授業実践の「花」の創造に身と心を砕き、その「心」(思想・哲学)を洗練させ、その「種」である「態」(身体技法・見識)を学び続けることが肝要である。教師は自らの内を律し、豊かにする修養によって、この受難の時代に教師としての人生をまっとうに生きることを可能にする。』

『小学校版新任教師のしごと「科」授業の基礎基本』 教育技術MOOK / 小学館
「国語科」「社会科」「算数科」「理科」「生活科」「音楽科」「図画工作科」「家庭科」「体育科」「外国語活動」

前半で各教科の授業の基礎基本を2ページ見開きでわかりやすく解説。まず授業の本質を理解できるよう配慮されています。後半では授業の中で出会う様々なQ & Aを掲載。

新任の先生だけでなく、授業の力を伸ばそうとされる先生方も活用できます。

『本物の学力が身に付く 新聞コラム活用術』 小宮山博仁著 / ぎょうせい
読解力、言語力、活用力.....等々。「生きる力」を育むために、学力向上を目指した言葉が次々と表れます。今、学力をつけるために新聞のコラムの活用が注目されています。

キーワードで新聞を読み解き、コラムを要約して自分の意見をまとめる。さらに深く調べることで、発展学習としても有効です。小学校高学年・中学生から高校生そして大学生・大人までそれぞれのレベルに合わせて学ぶことができます。

『時代を拓いた教師たち～実践から教育を問い直す』 田中耕治編著 / 日本標準
本書は、2005年に発行された『時代を拓いた教師たち』の続編です。

17人の教師の実践記録が取り上げられています。子どもたちによる「共同の学び」を進めた今泉博、「になってみる」授業に取り組んだ鳥山敏子、「1本のバナナから」高校生の目を世界に広げさせた大津和子、山田洋次監督の映画『学校』のモデルになった松崎運之助.....こんなにすごい教師たちが戦後教育を引っばってきました。

開館時間ご案内 平日 午前9時～午後9時 (土・日・祝日・年末年始は利用できません)	発行 尼崎市立教育総合センター 尼崎市三反田町1丁目1番1号 発行者 西本 由美 題字 尼崎市教育委員 岡本 元興
--	--